

佳作

しあわせなつやすみ

鹿児島県 鹿児島市立春山小学校一年 松元 桜音

わたしのなつやすみは、とてもとくべつななつやすみになりました。なぜかというとかあちゃんのきょうだいができたからです。

なつやすみにはいつてすぐ、ままがびょういんに十かかんもにゆういんしました。わたしは、ままがいなくてさみしかったです。ままのたいちようがわるくていっしょにあそびにいけなかったからです。

ままがいらないよるわたしは、なんかいもなくてしまいました。ままにあいたくて、ままがいないとさみしくてぼろぼろなみだがでました。

でも、ままがいらないあいだわたしはおうちでがんばりました。ぱやおばあちゃんやおじいちゃんたちからあわせて、おとうどのおせわをしたり、おてつだいをしたりしました。ときどきたいへんだったけど、みんなできょうりよくしてのりこえました。ままがびょういんからかえってきたひ、わたしは

すごくうれしかったです。やっとまたままといっしょにすごせるとおもったからです。

それから二しゅうかんご、ついにあかちゃんがうまれました。わたしはずっといもうとがほしいとおもっていました。でも、おとうとでもやっぱりかわいい。だいすきとすぐにおもいました。

わたしは、あかちゃんをまいにちだっこしたいです。おむつをかえるのもしてみたいです。あかちゃんとはとてもかわいくて、みているだけでこころがほかほかします。

あかちゃんは、まだちいさいからいっしょにあそべません。でも、わたしは、「はやくおおきくなつてね。いっしょにあそぼうね」とおもっています。ぶらんこも、すべりだいもいっしょにしたいです。

このなつやすみは、さびしいこともあったけれど、うれしいことのほうがいっぱいありました。ままがげんきになってくれて、げんきなおとうとがうまれて、わたしはともしあわせです。